



御蔵島村

50号

議会だより



御蔵島新ヘリポート

～ 掲載記事 ～

- P.2 ごあいさつ
- P.3 令和元年第1回定例会 議決事項
- P.4 議員 一般質問内容

ごあいさつ

令和元年8月9日

御蔵島村議会議長 広瀬 鹿雄

令和最初の統一地方選挙。御蔵島村でも村議会議員選挙が行われました。

村民の皆様の投票結果は、現職3、新人3となりました。

30代から50代を中心に、トータルで60歳若返りました。そのうえ、御蔵島村では60年ぶりに女性議員が2名当選しました。

住民自治の基礎である村議会は、医療や福祉、教育や保育、防災や観光、産業育成や高齢者対策など、住民の暮らしに密着した事柄の決定を行います。

明るい御蔵島村の未来を創るために、皆様の声を十分に聴き、各議員が行政チェック能力を十二分に発揮するため、日々努力して参ります。

住民と直結した議会とするため、皆様の身近な議員に、普段考えていることや思いついたことを直接伝えてください。お待ちしております。

2名の女性議員は、自らの意志で初当選議員とのことで、暑い中、京都で研修中です。

令和元年、新たな気持ちで初の女性議員の活躍を支援し、御蔵島の未来を創っていこうと思います。

令和元年第1回定例会 議決事項

令和元年第1回定例村議会が6月12日（水）に開会され、報告1件、同意1件を承認しました。

報告案件

報告 第 1 号	事故繰越し繰越し計算書（一般会計）について	令和元年6月12日	報 告
----------	-----------------------	-----------	-----

同意案件

同意 第 1 号	御蔵島村教育委員会委員の任命について	令和元年6月12日	原案可決
----------	--------------------	-----------	------

定例会 一般質問内容

◆金澤 美絵 議員

◎村役場駐車場の使用について

- 【質問】 村役場正面のスペースについては、現在、公用車・職員の私用車及び役場に来庁する住民用の駐車スペースとして利用しているが、新ヘリポートが完成したことにより、東側の風向灯が設置されたスペースを公用車、役場職員の私用車の駐車場とし、役場正面のスペースを村民がより使いやすくできるような提供できないか伺いたい。
- 【回答】産業課長：風向灯のスペースについては、マイクロバス等の公用車を駐車する方向で考えている。

◎村内スピーカーの故障・劣化について

- 【質問】 村内各所でスピーカーの劣化及び故障が見受けられ、建物の中にも放送が聞こえない。スピーカーが落下しそうな箇所もあり、早急な改善をお願いしたい。
- 【回答】総務民生係長：現在、ふれあい広場の上に設置しているスピーカーが垂れ下がっている状況を把握している。業者へは修繕依頼をしているが、現時点でいつ来島して作業に入るといった連絡を受けてないため、再度確認し、早急な対応を進めるところである。

◎放送試験について

- 【質問】 昨年度、業者がスピーカーを村内に持ち込んで放送試験を実施していたが、その目的は何か？既存のものと試験していたものの違いを伺いたい。
- 【回答】総務民生係長：昨年実施した放送試験は防災行政無線であり、村としても設置を検討しているところだが、防災行政無線については補助金等がなく、辺地債という形での申請手続きが前提となっている。今年度災害情報伝達システムの委託をもって、総合的に御蔵島村にあったものを採用していきたいと考えている。

◆砂原 奈美子 議員

◎救急搬送について

- 【質問】 全ての役場職員が救急搬送の訓練を受けているか？定期的に訓練を実施しているか伺いたい。
- 【回答】総務民生係長：職員については庁舎入庁に合わせて訓練を実施。直近だと4月1日に入庁した職員は、4月9日に実施済。頻度としては、継続している職員については新入職員に合わせて実施しているので、2～3回行っている。

◎情報の周知徹底について

- 【質問】 4月下旬頃、海底ケーブルの断絶による通信障害が発生した。そうした情報を早く得られない観光客や住民もいる。今回の通信障害に関し、時間軸での対応の経緯を伺いたい。
- 【回答】総務民生係長：海底ケーブル断絶は民間事業者のアクシデントであったものの、広範囲

の通信障害をきたしていた状況から、村として主体責任である事業者に対し、当初事業者が考えていたプレスリリースだけでなく、村内放送や全戸チラシの配布で住民に情報周知を行った。村としては当時の状況、復旧についての情報を速やかに伝えることを最優先に事業者に全面的な協力を行った。

◆徳山 正彦 議員

◎小中学校の遠足について

【質問】 4月に行われた小中学校の遠足におけるコースの誤認について、再発防止策を伺いたい。

【回答】**教育長**：経緯としては、遠足においてコース誤認があり、児童生徒、特に低学年児童には負担をかけてしまった。

原因としては、実地調査が十分ではなかったこと、また、マイクロバスの故障により、全路徒歩となり、余裕のある日程が確保できなかったことが挙げられる。学校及び教育委員会として検討した再発防止策としては、実地調査を遠足当日のできる限り近い日程で入念に実施すること、コースをよく知る教員を引率者に配置すること、児童生徒の発達段階に応じたコース設定をすることなどが挙げられる。最も大きい対策としては、今回の件を今後の学校経営、教育計画に生かし、教育委員会及び学校が一体となって今回のような出来事が起きないように取り組むことだと思う。

【質問】 遠足の実地調査あるいは当日、村の山ガイドの方に協力を依頼することはどうか？

【回答】**教育長**：学校の教育課程等の中で、そういったことが可能か否か検討するように伝えたいと思う。

◎御蔵島村の財政状況について

【質問】 村が公表している財政情報を見ると、財政状況は極めて良好に見受けられるが、村としてはどのように認識しているか伺いたい。

【回答】**総務課長**：村の財政については、危険な状況とは考えていないが、極めて良好とも考えていない。理由としては、経常収支比率や財政力指数など弱い指標もあり、また基金残高についても良好な部分もあるが、これからの村有施設の維持更新費用等で資金需要が膨らむ状況も想定される上、歳入では交付税の減少が続いているといった不透明な部分もあることから決して安泰とは言い難い状況であると認識している。

【質問】 財政に関して不透明な部分があるということは理解できるが、今後村に必要と認められるような新規事業あるいは投資的事業を行える状況にはあるのか伺いたい。

【回答】**総務課長**：総合的に判断する必要があるが、住民ニーズに応えられて、社会関係性があるような事業であれば、財政運営の中で捻出することは、これまで以上に考えていかなければならないと考えている。

◆黒田 正道 議員

◎漁業振興について

【質問】 I・Uターン者の増加により、漁獲高は増加しており、更なる振興を期待しているが、

漁港に船を陸揚げする施設が整備されておらず、何らかの施設の整備をお願いしたい。

また、漁業振興に欠くことのできない製氷施設が老朽化して製造できなくなっており、八丈島から購入し、対応している状況が続いている。小笠原村の行政視察の際、薄氷の製氷施設を視察したが、薄氷は本村においても有効であると思われる。薄氷の導入も考慮した製氷所の建て替え等の抜本的な対策を講じて頂きたい。

【回答】産業課長：船を陸揚げする施設としては、移動式小型クレーンで対応してきたが、更新の際に、ロングの中古がなく購入できなかった。現状は個人所有の物で対応し、補助金を出すこととしているが、今後、船主会・漁協と話し合いながら、望ましい方向で進めていきたい。

製氷施設については、不具合により製氷できず、八丈島から購入していることは承知しており、早急に製氷できるように手配している。また、老朽化した砕氷機の更新についても手配している。製氷能力を超えた需要のための慢性的な氷不足は承知しており、何らかの対策の話し合いは続けていく。

◎保育士の確保について

【質問】 昨年、保育士の確保ができないと休園し、本年は3歳になった児童が入園を待たせたことがあったが、このようなことが起こらないよう保育士の確保に努めて頂きたい。

また、長期的・永続的な保育士の確保のための給付型の奨学金の検討もお願いしたい。

【回答】総務課長：開園当初から保育園は正規職員2名を配置してきたが、正規職員の確保が困難な状況のため、派遣職員や臨時職員で対応している。

長期的・永続的な保育士の確保は考えており、処遇改善・総合支援に努めていく。総合支援という意味合いでの奨学金については、検討する余地はあると考えている。

◆栗本 道雄 議員

◎村役場職員の指導・教育について

【質問】 慢性的な職員不足により、住民へのサービスが低下している。採用後の職場内や島内での心得、考え方などの指導は適切に行われているのか伺いたい。

【回答】総務課長：年度内において1年を経過した時点で市町村研修所への派遣、また前段として村役場内において実施している研修として、課長、課長補佐、係長が地方自治制度、地方公務員法、服務規程等々を各所管に分かれて研修を実施している。働き続けられる環境を整備することが重要で、今後とも研修等については、指導、教育に努めていく考えである。

◎水力発電所について

【質問】 現在故障により稼働していない水力発電所について、今後電力会社より何らかの説明があるのか、また村として今後の水力発電についてどのような考えを持っているか伺いたい。

【回答】産業課長：電力会社からの説明と今後の方針は、現在、巡視路が寸断されていること、鉄管自体には問題がないこと、しかし発電機を持ち出さないと修理が難しいということが報告されている。本年度は巡視路と川田線道路の補修工事を行い、来年度に発電機を島外へ搬出し、修理予定である。

【質問】 災害等が発生し、燃料の海上輸送が困難となり、内燃力発電所の燃料が無くなり、水力発電のみとなった場合、内燃力発電所の所内電力を賄うことはできても村への送電は不可能と聞いたことがあるが、実際のところはどうか？また、今回の修理時に水力発電の能力を上げられないのか伺いたい。

【回答】 発電係長：内燃力発電所がダウンして水力発電のみの電力になった場合、微力ではあるが村への送電は可能。しかし、村への途中にある焼却場が稼働している場合は不可能である。水力発電の能力アップについて、既存の鉄管サイズ、水圧、流量、有効落差等では厳しいと電力会社より言われている。

紙面の都合上、議会だよりは文章や内容を割愛したり、要約したりして掲載しています。ぜひ議会を傍聴してみてください。

御蔵島村議会に関するお問い合わせ

御蔵島村役場 総務課総務係 議会事務局

〒100-1301 東京都御蔵島村字入かねが沢

TEL：04994-8-2121

FAX：04994-8-2239